

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。

ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2026 情報処理安全確保支援士 総仕上げ問題集（電子書籍版含む）

No	訂正箇所	誤	正
1	R7 春-82～83 令和7年度 春期試験 午前Ⅰ問題 解答・解説 問 19	(前略) 作業の所要期間を短縮させる技法として、クラッシングのほかにファストトラッキング (fast tracking) があり、(ア)の「作業の前後関係を組み直し、実施する順番を変える」、(イ)の「作業を分析し、同時に実施できる部分を複数の作業に分割し、並行して実施する」、(ウ)の「先行作業の一部の成果物が完成した時点で、後続作業を開始する」は、全てファストトラッキングで行う技法の説明である。	(前略) 作業の所要期間を短縮させる技法として、クラッシングのほかにファストトラッキング (fast tracking) があり、この技法は、通常は順番に行う作業を並行して行うことによって、所要期間を短縮するものである。 ア：「作業の前後関係を組み直し、実施する順番を変える」について、実施する順番を変えるだけでは一般的に期間短縮できるとはいえない。なお、「実施する順番を変える」の意味として、作業を並行して行い期間短縮できたことも含むとすれば、ファストトラッキングといえなくもない。 イ：「作業を分析し、同時に実施できる部分を複数の作業に分割し、並行して実施する」は、作業の見直しによる期間短縮の説明といえるが、後続作業と並行して行う部分があればファストトラッキングにも該当するといえる。 ウ：「先行作業の一部の成果物が完成した時点で、後続作業を開始する」は、完成していない成果物の作業と後続作業が並行して行われるので、ファストトラッキングに該当する。 ※「誤」の青字部分を削除し、「正」の赤字部分を追加